



やず町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



これな～んだ？

絵本の読み聞かせ・子育て支援センター（旧大御門保育所）

もくじ

- 12月定例会
議会基本条例を議決……………2
- 臨時会（第10回）、議会報告会……………4
- 一般質問（11人が質問）……………5
- 議案等議決結果……………16
- 私も言いたい（議員OBからの声）……………18

第44号

（平成28年2月）



町の花「さつき」

町民の負託に応えるため 議会基本条例を議決

平成27年12月7日より12月18日まで、12日間の会期で12月定例会を開催した。
条例制定1件、条例の一部改正3件、一般会計や特別会計の補正予算5議案、議員
発議による追加議案1件を含む19議案を審議、いずれも原案どおり可決した。
陳情審査は2件、いずれも不採択とした。
一般質問は、11人が登壇、町政全般について質した。

条例の制定・改正など

○八頭町議会基本条例の制定

議会の基本理念、議員の責務及び活動原則を定め、町民の負託に応えるためのもの。

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

法の改正によるもの。

○総合福祉施設多目的広場条例の一部改正

○福祉施設設置条例の一部改正

質疑

福祉施設は旧保育所の活用となっているが、大江と大御門はどのようなまちづくりか。

答弁

吉田町長
大江は地区公民館、大御門はまちづくり委員会が母体となって立ち上げている。

若桜鉄道

○若桜鉄道株式会社が所有する鉄道資産の無償譲受について

○鉄道施設条例の一部改正

若桜鉄道が所有する車両、4両の無償譲受を可決し、条例に車両を加えるもの。

質疑

この譲渡が、どうして経営改善につながるのか。

答弁 吉田町長

24年から赤字だ。若桜谷の地域公共交通を守るため、若桜鉄道を運行したい。そのための経営改善だ。

質疑

この4両の点検、修理、車検等の費用が、若桜鉄道で捻出できないための譲渡であることを、町民に説明する責任があるが。

答弁 吉田町長

機会を捉えて住民へ説明したい。

マイナンバー

○八頭町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

○町税条例の一部改正

番号法に基づく社会保障・税番号制度における個人番号利用及び特定個人情報の提供を規定するもの。

質疑

マイナンバーの漏えいとこの制度についての町民の理解度は。

答弁 吉田町長

漏えいしないことが望ましいが、絶対とは言えない。関心は高まっている。

指定管理の指定

る事務所を有する者と要綱に定めている。

（主な歳入）
○生活保護費国庫負担金 1465万円

○姫路公園の指定管理者の指定について

○船岡保健センターの指定管理者の指定について

○県支出金 363万円

【管理者】

【管理者】

○特別医療費県補助金 500万円

（株）やずふれあい市場

八頭町社会福祉協議会

○地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生交付金） 4377万円

【管理料】

【管理料】

『因幡・但馬地域若桜鉄道を活用した広域観光ルートの創設』
（交付金内訳）

1年間400万円、3年間で1200万円。

1年間652万円、3年間で1956万円。

・広域観光ルート関連 1424万円

【質疑】

公募の応募者は一業者であった、公募の方法は。

○八東地域福祉センターの指定管理者の指定について

・若桜鉄道関連 2953万円

【答弁】 吉田町長

県外の方も対象、ホームページにも掲載した。

【管理者】 八頭町社会福祉協議会

（主な歳出）

○八東ふるりの森の指定管理者の指定について

1年間685万円、3年間で2057万円。

○特別医療支給扶助費 1000万円

【管理者】

指定管理の期間は、いずれも平成28年4月1日から平成31年3月31日までの3年間。

○福祉のまちづくり推進事業補助金 480万円

【管理料】

1年間295万円、3年間で887万円。

○生活保護扶助費 1953万円

【質疑】

応募の規定は、町内外を問わずとなっているか。

○平成27年度八頭町一般会計補正予算（第6号）
歳入・歳出の予算にそれぞれ6343万円を追加し、総額107億330万円とするもの。

○鳥取梨生産振興事業補助金 478万円

【答弁】 吉田町長

鳥取県東部地域に主た

○鳥取柿ぶどう等生産振興事業補助金 1764万円

○農地中間管理事業補助金 388万円

補正予算

陳情の審査

○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情書	反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 田中修一	付託審査した総務教育 常任委員会は採択したが、 本会議の採決で賛成少数により不採択	—
所得税法第56条の廃止を求める陳情書	鳥取民主商工会婦人部 部長 青木二三子	国会での検討を見極めた うえででの判断とした い	—

平成27年
第10回臨時会

11月12日

町長提出議案3件を審議し、原案どおり可決した。

契約

◇郡家保健センター増改築工事請負変更契約の締結について

○変更金額

84万円

○最終金額

5904万円

○変更の理由

増築部分の中庭地中に土間コンクリートが施工されており、取り壊しと処分費用が新たに発生したこと、また視覚障害者用誘導シートの敷設延長を追加した。

損害賠償

◇損害賠償に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて

保育中に発生した事故の損害賠償に係る和解と

損害賠償の額を定めるもの。

賠償額109万円。これは全国町村会総合賠償保険で支払われる。

補正予算

◇平成27年度一般会計補正予算(第5号)

一般会計の歳入・歳出予算総額にそれぞれ199万円を追加し、106億3987万円とするもの。

予備費130万円を減額。

〈歳出〉

○総務費

企画一般事業費

120万円

放置家屋等解体撤去補助金。

諸費

109万円

保育所の事故賠償金。

町税還付金

100万円

地方創生

地方創生先行型事業

タイプI・II事業合計5377万円の満額が、地方創生先行型事業として決定し交付された。

〈タイプI〉

○鳥取県因幡地域と兵庫県但馬地域の連携による観光ルートの創出事業。
『海幸・山幸回廊』

本町申請額

1424万円

○地域の宝・若桜鉄道の生き残りをかけた挑戦事業、若桜鉄道を生かした観光事業の推進。

本町申請額

2953万円

〈タイプII〉

○イノベーションバレーの創設。学校の空き施設を活用しサテライトオフィスなどの情報企業などを誘致し雇用の場を創設する。

本町申請額

1000万円

14会場で開催 議会報告会



▲ 郡家東地区公民館

10月22、23、27、28日の4日間14会場、4班編成で開催しました。

報告会は、議会基本条例、議員定数、議員報酬を主題として行いました。

参加された町民の方からは、もっと町民の関心のあること、議員活動などについて報告してとの意見、また参加者を増やす工夫をするようにとの意見もあり、次回の課題といたします。

今回の報告会は、参加者117人で昨年より19人増えています。アンケートを初めて実施しました。117人中102人の方から頂きましたので今後の参考にいたします。ありがとうございました。

次回は、議員活動状況の報告も含め、多くの町民の皆様に参加していただけるように工夫いたしますので、よろしくお願いいたします。



奥田のぶよ 議員

男女共同参画

包括的な母子支援体制は
できないか

町長／第3次プランで推進する

質問

① 27年7月に実施されたアンケートの概要は。
② 住民団体と民間団体との連携、行政内部の各課との連携は。
③ 防災、災害対策分野における推進は。また自治会役員の女性登用促進は。
④ 再就職に向けた支援活動の推進は。

答弁

吉田町長

① 第3次八頭町男女共同参画プランの策定にあたり、アンケート調査を実施し、600人を年代別に無作為に抽出し180人、30%の回答があった。

その結果、全体を通じて男女共同参画意識が一定の高まりを見せて、本町における施策は一定の成果を得たものと考え

る。
課題は社会通念上や習慣において男性優遇と捉える意識は高い数値となっている。意識の啓発を継続していく。
② 各団体とは連携、協力し推進していく。行政内

部は各課に男女共同参画担当を置き職員研修を実施している。
③ 防災分野における女性リーダーの育成を推進する。自治会役員の女性登用の促進は、副区長、会計を含めた名簿の提出をお願いしている。

④ 男女共同参画センター、図書館、公民館で再就職に関する相談、就業支援の情報提供を行っている。

① 第3次八頭町男女共同参画プランの策定にあたり、アンケート調査を実施し、600人を年代別に無作為に抽出し180人、30%の回答があった。

質問

女性団体の審議会委員推薦の窓口が男女共同参画センターにならないか。

答弁

吉田町長

担当部署との関わりが大事だと考え、内部で検討する。

質問

男女共同参画フェスティバルの参加者が少なかった。役場内の推進員の出席確認はしているか。

答弁

吉田町長

承知していない。

質問

防災室への女性職員配置の予定は。

答弁

吉田町長

女性職員がいなくても対応できると判断している。

質問

男女共同参画センターに就労支援の窓口が設置できないか。

答弁

吉田町長

固定化するより産業観光課など間口は広がってほしい。

質問

母子に対してのサービスを包括的に支援するネウボラ（相談する場所）の体制づくりを男女共同参画センターと他の子育て関係機関でできないか。

答弁

吉田町長

包括的に支援することは大事であり、男女共同参画センターをはじめ、それぞれのセクションでサポートする体制を考え

ていく。

質問

町長が描く本町の将来の男女共同参画の姿は。

答弁

吉田町長

本町の制度周知を各部署で推進し、男性も女性も支え合えるまちなれ



▲ 男女共同参画センター「かがやき」

健康対策

「健康やず21」の進捗状況は

町長／今後も環境整備を行う



西尾 節子 議員

質問

第3の柱の「健康を支えるための社会環境の整備」については、地域福祉計画で、福祉のまちづくりを中心にやっていくように記載してある。まだ始めていない地区が何地区もあるのか、ほかの方法も考えないか。

答弁

吉田町長 個人の取組みであった健康づくりを、家族や地域全体に広げ、健康を守るための取組みを社会全体で行い、相互に支え合う環境を整備する必要がある。具体的には、各集落の健康づくり推進委員による各種検診の受診勧奨や健康教室の実施による集落単位での健康づくり活動、愛の輪推進委員や福祉支援員による高齢者の見守り活動がある。今後も、地域で健康を支え、守る社会環境整備を行う。

質問

第4の柱「健康に関する生活習慣の改善」の中で「飲酒」と「喫煙」については、ポスターやステッカーなども考え、町民に見える取組みを期待したいと思うがどうか。

答弁

吉田町長 飲酒は、量により健康によい効果もあるが、過度に摂取すると健康に害

が出る。たばこによる健康被害には、がん、脳血管疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、糖尿病などがある。

受動喫煙も、がんや循環器疾患などに加え、乳幼児喘息や呼吸器官症などがある。

喫煙、飲酒がもたらす健康被害や適切な飲酒量など正しい知識の普及に取り組み。



▲ 第10回森下広一杯マラソン大会の様子 (旧船岡中学校グラウンド)

行政施策

きめ細かな行政を

町長／町民の意見を

反映したい

質問

審議会委員選出の基本的な考え方は。

答弁

吉田町長 町民に参加できる機会を確保し、意見を反映したい。一般公募委員も含め、男女のどちらかが40%になるようにしている。

質問

職員の研修は。

答弁

吉田町長 接遇研修のほか、あいさ波特ター・能力開発向上研修などを行っている。

質問

防災無線の熱中症についての放送は。

答弁

吉田町長

熱中症警戒週間、熱中症特別警報、熱中症警報と分けて放送している。

予防の放送は、県から一定の基準によって警報などが発令された場合に放送しており、町独自の判断は困難である。

質問

森下広一杯マラソンの中で、ハーフマラソンは男性274人・女性44人、10kmは男性89人・女性33人と参加者が増えている。

走った後、希望者に無料で、八東の温泉サービスを考えてはどうか。

答弁

菟田教育長 温泉施設は鍛冶屋温泉のみで船岡から離れている。少し取材させていただきたい。



尾島 勲 議員

八頭町総合戦略

本町の未来予想図は

町長／平成32年の人口1万7000人だ

質問

町長・教育長の思い描く、夢と希望に満ち溢れた本町の未来予想図について伺う。

答弁

吉田町長

①八頭イノベーションの創設については、先進的な取組みに積極的にチャレンジするまちの姿を強く発信する。
②因幡但馬海幸・山幸回廊の創設については、観光客数の増加によるまちの活性化、安定した若桜鉄道の経営に基づく地域交通体制の確保を図る。
③本町を代表とする農産物であるフルーツの競争力を高め、本町の顔であるフルーツのある美しい風景を未来へと残す。
④「安心子育て・いきいき学習のまち八頭」の創設では、県庁所在地である鳥取市の隣接地としての地の利と手厚い子育て環境が両立する子育てしやすいまち、町外の居住者であっても、本町で子育てをしたい、学びたいと思ってもらえるまちの実

現だ。

目指すべき町の姿については、「平成32年の人口1万7,000人、笑顔あふれる住みよいまち、住むなら八頭町」の実現だ。

質問

萩田教育長

町外の居住者であっても本町で学びたい、子育てしたいと思える学校運営ができればと考えています。

質問

本町の地方創生総合戦略を通して見えてくる、10年間、20年間の物語・サクセスストーリー、町長が一番書き上げたいメインストーリーについて再度伺う。

答弁

吉田町長

本町とすれば計画の中の、より現実的なものを挙げるべきだと判断している。

質問

夢は語らないで現実路線でいく方向なのか。

答弁

吉田町長

就任当初から前任の町長の政策を引き継いでいる。着実な政策も重要であると思っている。

質問

町長の頭の中にあるスケジュールに当てはめる

答弁

吉田町長

基本的には予算、財政が伴わなければ計画は執行できない。見極めをしながら職員と一緒に進めたい。

のではなく、予算ありきで進めるとのことなのか。逆に言うと、「スケジュールがあるから、このように進める。だから予算を引っ張ってくる。そうではなく、予算が付いたから後付けでスケジュールを立てる」ということなのか。



▲ 未来の八頭町を担う新成人（八東体育文化センター）

地方創生4事業

イノベーションバレーの創設

町長／委託により5年間で5社



河村 久雄 議員

【質問】

地方創生について、若手職員などから多くのご提案は地方創生の新たな発想が生まれ将来の参考になるのではないかと。平成31年まで5カ年間の具体的な4事業が計画されている。イノベーションバレーの創設は5年間で5社、毎年1社でソフトバンク社に本年度は1000万円を委託しているが、町長自らが企業を探しては。

【答弁】

吉田町長

いただいたご意見はホームページに掲載している。今回は準地域に合った取り組みをしていただく。トータルで5年間に5社という考えである。企業訪問は検討している。

【質問】

公共交通網で黒字にしている自治体もある。若桜鉄道やさんさんバスなどの運営方法の検討は。

【答弁】

吉田町長

平成29年度に鳥取県と一緒に計画を作成の予定である。

【質問】

農業後継者、1年に1人、5年間で5人の計画について伺う。

【答弁】

吉田町長

新規就農で戦略に取り入れ、果樹栽培の後継者

【質問】

安心子育て、町内で働く方が住みたくなる環境、教育問題は。

【答弁】

認定こども園を一方所設けてはどうかと考えている。

の育成の計画を入れている。

がん受診率

ハードルが高くなり
新たな対策が必要
町長／一定の年齢者のがん
検診・無料化などを行う

【質問】

がんの受診率向上については、今回で3回目になる。

本町は県下では上位であるが、ここに来て伸びていない。今一歩であり非常にハードルが高くなっている。ご所見を伺う。

【答弁】

吉田町長

今年度、健康づくり推進委員に対して検診の受診率向上の意見交換を行っている。

来年度以降は検診を受けやすい体制づくりや、一定の年齢の方へのがん検診、無料化を行うなど、受診率向上に努める。

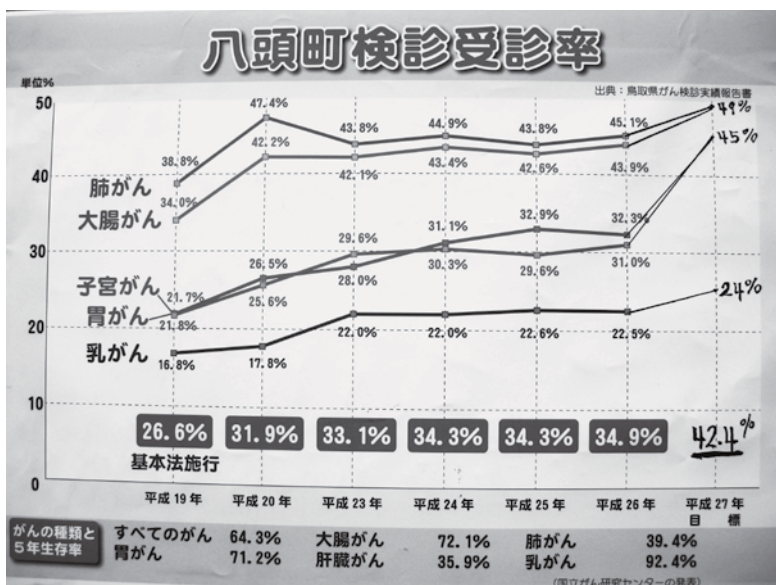
【質問】

中身をもっと分析し、個々にでも電話をするなど、今一度工夫と努力が必要ではないか。

【答弁】

吉田町長

健康は自分で管理するしかない。何が問題か分析し、どうしたら町民の皆さんに受診していただくかを考えていく必要がある。



▲ 八頭町検診受診率の推移



山本 弘敏 議員

八頭町総合戦略

第2子以降保育料の無償化はいつまで
町長／平成31年度までの総合戦略の期間中だ

質問

①宅地造成はいかに。農業振興地域から除外が難しい現状のなか、どのような場所に土地を求めようと考えているか。

答弁 吉田町長

①地方創生の取り組みで規制緩和などの適用が可能なかどうか検討しつつ、圃場整備田を検討していく。

質問

J A船岡ガソリンスタンド前の土地が駄目になった理由は。

答弁 吉田町長

圃場整備のど真ん中であつたためである。

質問

②子どもを育てながら働き続けられる環境の整備について何う。

平成28年度からは第2子以降の保育料を無償化する

とあるが、今後も第2子以降無償化を継続していくと考えてよいか。

答弁 吉田町長

②第2子以降の無償化は財政のことを加味しながら、来年度以降当面実施していきたい。

質問

当面とは何年ぐらいか。

答弁 吉田町長

総合戦略の期間中だ。32年以降はその時点で判断したい。

質問

安心して働ける環境の拡充について何う。

現在の延長保育の時間を午後8時までとする考えはないか。

答弁 吉田町長

午後8時までの延長保育は確かに安心して働くための、環境拡充にはなるかもしれないが、長時間保育所で過ごす児童への負担も考える必要がある。

質問

夏季児童クラブについて何う。

今年27日間、会費は1日900円、保険料・おやつ代を含めて負担金は1人3万1520円となるが妥当か。

答弁 吉田町長

会費は一時保育の利用料1000円を参考に決定している。子育て支援

は急務だ。引き続き検討したい。

質問

③八頭町まるごとスポーツパーク構想の中で、「スポーツ大会の誘致を行い東京オリンピック・パラリンピック大会における、ホッケー競技のキャンプ地誘致に努める」とあるがどうだろうか。

答弁 吉田町長

③2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催される。事前のキャンプ地としてホッケー競技の海外チームを、本町に誘致するよう取り組みを進めている。スポーツ大会の誘致としては全国スポーツ少年団ホッケー交流大会だ。



▲ 農業振興地域除外とならなかった土地 (J A船岡ガソリンスタンド前)



小林 久幸 議員

有害鳥獣

今の猿対策で十分か

町長／捕獲檻を設置する

質問

私たちの集落では、猿が人里に出没、農家が作っている農作物を食べる、そして持ち逃げをする。家族がテレビを見てみると、茶の間の戸がすつと開き、猿が顔をのぞかせる。家に家族が不在であれば、猿が家に入り込み、台所の食べ物、仏壇のお供え物を失敬、米袋を破り、部屋中に足の踏み場のないほど米をまき散らすありさまだ。そこに暮らす住民は打つ手がない。

起きてはならないことが起きた。スクールバスに乘車するため、女子中学生が県道津山八東線の島のバス停で猿に囲まれて、逃げようとした際に、転んで足を負傷した。

中学生の心の中は裂けんばかりの不安と恐怖の瞬間ではなかったかと思う。事故後どのような対策を講じたのか。

答弁

吉田町長
翌日からスクールバス

の運行時間に合わせたパトロールをする対策を講じており、現在も追い払いをするためモデルガン、花火なども携帯し、追い払いをしながら山に入れば猟銃で殺処分できる体制も整えてパトロールを続けている。

質問

今の猿対策で十分なのか。

答弁

吉田町長
昨年11月に猿の檻、10m×10mの物を設置している。実績は、昨年1頭、本年1頭の捕獲に成功している。

鍛冶屋集落でも非常に猿の出没が多く、大変苦慮されている。県を交え、地元と数回協議し、猿の進入路や耕作放棄地などによる隠れ場所、収穫されていけない柿など放置果樹がたくさんあると判明した。

その後、地元で果樹の伐採など、猿に有利となつてい物の撤去作業をされ、現在は出没回数が減少している。

質問

猿の群れは今いくつに分かれているのか。数は何頭と推定しているのか。

か。今どの地域にいるのか。

答弁

吉田町長
県は調査をしていないが、15年ぐらい前のアンケートは本町、若桜町、日南町のあたりだ。

本町では2〜3の群れがあるのではないかと思う。

質問

県に調査を依頼するのか。

答弁

吉田町長
ではなく、町の仕事として町民の安全を守るという意味で把握をしていただきたい。そこで情報を入れてもらう仕組みを作ってはどうか。

住民の通報があれば、調査に行きたい。



▲ 猿の食事風景 (日田)



川西 聡 議員

米軍機低空飛行訓練

防衛省へ強い中止の要請を

町長／住民の安全のため
引き続き要望をする

質問

頻度は少ないが、本町でも依然として米軍機が轟音を立て飛来し飛行訓練を行う光景が見られる。

① 飛来に関する最近の県への情報提供はあるか。
② 飛来の証拠保全のため、騒音測定器の設置や機体の写真撮影を行っているか。

③ 津山市は低空飛行訓練の日時・方位・高度・爆音状況などを記録した影響調査票を保育園や学校で作成し中止要請の手段にしている。本町も全ての機関で実施してはどうか。

答弁

吉田町長

① 11月2日に目撃情報があり、県に連絡した。
② 防音対策は町が独自で行うものではなく防衛省の所管と考える。国の責任で設置するよう要望している。写真撮影は瞬時のことであり困難だ。
③ ほぼ一緒に調査票を防災室に配備してあるが、教育委員会を初め内部で

協議する。

質問

最近では防災及びドクターヘリなどの出動回数が増えており衝突すれば大惨事になる可能性が高い。強い中止要請を行うべきだが所見は。

答弁

吉田町長

町村会を通じて知事に対し重点要望事項として例年上げている。ここ数年、県の防災ヘリの年間出動回数は、救急救助など100件からある。県は防衛省へ適切な措置を講じるよう要請している。本町も住民の安全のため引き続き要望を行う。

学校給食

異物混入の
防止対策の徹底を

教育長／細心の注意を払う

質問

11月6日に学校給食の異物混入（調理機具刃の欠損部分）があった。調理中に異物が献立の食物の中に入った可能性があるため、献立の一部を変更・中止したことににより幸い事故には至らなかった。感謝はするが、児童・生徒には献立通りの給食が提供出来ず、関係者の中心いかばかりかと推察

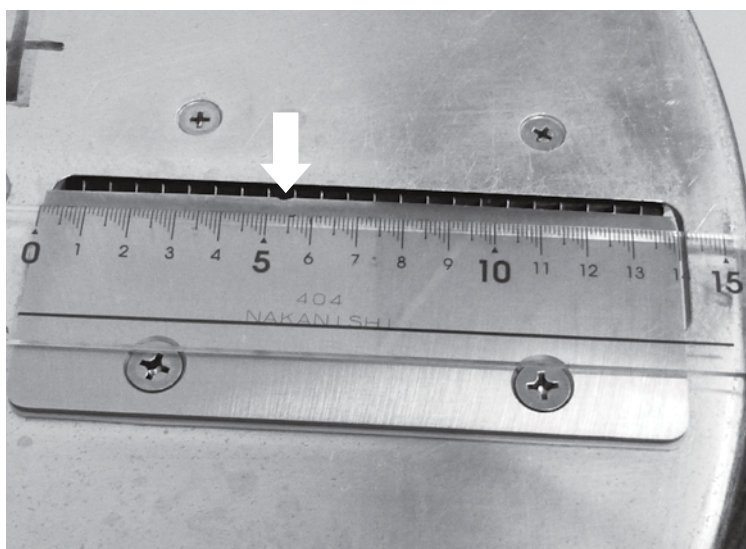
質問

① 平成25年度からの異物混入の記録は何例か。
② 刃の欠損は不可抗力で防止出来なかったか。

答弁

薮田教育長

① 平成25年度は学校9件・調理場3件の計12例。26年度それぞれ30件・10件の計40例。27年度は10月末現在で同じく27件・12件の計39例である。



▲ 裁断機（スライサー）の刃こぼれ部分（現在は使用されていない）

件数の増加は、調理場が細かく観察し事故につながらないよう努力しているが問題意識が上がっている経過だ。
② 3ミリ×1ミリの刃こぼれの原因が特定出来ない。今回は事前に予測出来なかったと考えている。

「使用前の中後の目視確認の記録をする。食材の代替時は刃を取り外し状態の目視確認をする。安全性の確認時までは次の裁断作業は行わない」を徹底し、細心の注意を払って作業に当たるよう指示している。

体策を明確に示していただきたい。

答弁

薮田教育長



池本 強 議員

若桜鉄道

3300万円の大赤字はなぜか

町長／営業損失2000万円、特別損失が1300万円だ

質問

若桜鉄道の26年度決算について、当期損失が3300万円と大赤字になったのはなぜか。

答弁

吉田町長
旅客収入などによる減益が2000万円、特別損失1300万円、合わせて3300万円だ。

質問

貯蔵品、売店商品について、売価計上による誤りで特別損失1300万円、過年度損失が計上された内容と経緯を問う。

答弁

吉田町長
内訳については資料を配布し、総務教育常任委員会ですべて説明している。

質問

一般質問をしているので正確に答弁すること。なぜ今日まで判明しなかったのか。

答弁

吉田町長
経理の方法に問題があった、決算に影響した

ということだ。

質問

経理方式が変わったと言いますが、不適切な在庫の評価を行い粉飾らしき不適正な決算だ。売店開業の19年度から

答弁

吉田町長
そこまでは、確認していない。

との話だが、それ以前はどうしていたのか。紙切れ一枚の乗車券をどういう評価をしていたのか。



▲ 今日も走る若桜鉄道

地方創生

総合戦略で、人口減少に歯止めがかかるか

町長／なかなか難しい問題だ

質問

そもそも地方の人口がこれだけ減ってきたのはなぜか。

答弁

吉田町長
一番は都市への人口集中だ。雇用も大きな影響が出ている。

質問

だからなぜ流出し、雇用が不安定なのか。今回の総合戦略によって、地方の人口減少に歯止めがかかると考えているか。

答弁

吉田町長
なかなか難しい問題だと思っている。

質問

人口減少に歯止めをかけるには、安心して生活

できる環境づくり、雇用の安定なり所得の確保が前提だ。

しかし、国がやっているのは地方創生といながら、TPPで農業は大

打撃、労働の規制緩和で、長時間労働と不安定雇用が増大して若者が安心して結婚し子育てができる状況にない。これは国の大きな政治課題と考えるがどうか。

答弁

吉田町長
安定した雇用と所得があり、安心して住める、安心して結婚、子育てができることが、今の時代求められている。議員と同感だ。



栄田 秀之 議員

介護予防

ウォーキングロードを設けては

町長／介護予防の一環

質問

四季を通して野辺の散歩は気持ちがいい、健康で元気に生きていくためには、ウォーキングは最適だ。町内でも多くの人が楽しんでいる。町で安全に安心して歩けるコースを設けてはどうか。

郡家ドームを出発点として私都川両岸の土手を土師百井廃寺まで往復するコースで、途中の白兔神社にトイレとベンチを設けて、1km・2km・5kmなどの表示をして、川の流れとともに歩くウォーキングロードを設けることについて伺う。

答弁

吉田町長

新たなコースの設定は、周辺地域の住民の方の理解が得られるか、ウォーキング者の需要に合っているか検討が必要だと考えている。

質問

河川の土手の方が安心して安全に歩ける。介護保険の費用の抑制となり必要な維持費も草刈り程

度で済むと思う。費用対効果について伺う。

答弁 吉田町長
ウォーキングは介護予

学校統合

八頭中の学力向上は 教育長／平均を上回って 良好

質問

教育ビジョンには、一人ひとりの確かな学力と学習意欲の向上や学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりに努めるとある。

①統合した八頭中において、学校の環境は整ったが、学力は向上したのか。
②ビジョンの推進においては、「関係部署と密接な連携を図り取り組みを進める」とあるが、関係部署に議会は含まれるのか。
③中学でのいじめが問題となつているが、八頭中ではいじめ対策はどのよ

防の一環と思つている。維持的なことがしつかりできれば歩くにはよいという思いがした。

うに行われているのか。

答弁

菟田教育長

①全国学力・学習状況調査では、全体的に全国平均、県平均を上回つており良好と思つている。
②関係部署に含まれると認識している。
③25年に「八頭町いじめ防止基本方針」を定めて、いじめの未然防止に努めている。

質問

八頭中の運動の活躍については報告があつたが、学力については何の音さたもない。町民へ中

学校の統合メリットをきちんと公表するべきでは。

答弁 菟田教育長

どういった形でお知らせするのが、ベストなのか十分検証する必要がある。

質問 本町のいじめ予防について、どのように取り組

んでいるのか伺う。

答弁

菟田教育長

日々の学校生活の中での人間関係づくり、人権を大切にする教育の推進、お互いを大切にする風土を培つていくことに力を入れている。

○その他の質問
・指定管理について



▲ 新制八頭中学校



小倉 一博 議員

人権教育

学習会の推進体制強化を

町長／検討する

質問

平成23年12月「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が施行された。
 ①今年と同和対策審議会答申から50年にあたる。同和教育の成果をどのように評価するか。
 ②今後の人権教育及び人権啓発をどのように進めるのか。
 ③全集落を対象とした「部落学習会」についての進めるのか。

答弁

吉田町長

①人権擁護総合計画を策定、計画にそって、人権尊重の立場に立った施策を進めてきた。
 様々な人権問題と向き合い、家庭・学校・地域が連携を図りながら取り組む姿勢が出来つつある。
 基盤である各地区同和教育推進委員会において、全集落で学習会が開催されるなど、明るく住みよい町づくりに向け意識高揚が図られてきたことも評価してよいと思っ

ている。

②平成23年に「八頭町人権教育基本方針」を策定している。同和問題の解決を基本としながら、あらゆる人権問題の解決につながるように、人権教育及び啓発を推進し、町民相互の理解が深められる人権施策に取り組んでいく。
 町民意識調査を行った。本町の重要な施策の一環として28年度以降も取り組む必要がある。
 ③「継続は力なり」で、人権尊重社会実現のため、さらなる推進を図りたい。

組織体制や名称などを検討しながら学習会を継続していく。

答弁

藪田教育長

②国語・社会・歴史・総合的学習の中で、人権確立の歴史や基本的人権について学習する。
 道徳教育の時間では、他人の気持ちを共感的に理解できる情操を培い、児童生徒が自他の存在を等しく認め、互いを尊重

する態度を養っている。

意見の相違があってもお互いを認め合い、建設的に調整できる力や自分の言動が相手や周囲に与える影響を判断して行動できる力などを学習する。
 身近な問題を友達同士で解決していくことが、差別や不合理に出会った時の対応力になる。充実した人権教育の推進を

図っていく。

質問

意識調査によれば、5年間参加したことがない人が約35%ある。
 各集落の学習会の進め方について、1人や2人で進めている現状もあり、推進体制の強化が必要だが。

答弁

吉田町長

小・中・高と教育を受けた人が地域の学習会になかなか出てこないのが現状だが、推進体制も含め検討する。

○その他の質問
 ・町政の諸課題について
 (町民意見)



▲ 部落学習会 (大江地区公民館)



高橋信一郎 議員

防災対策

有効な訓練になっているか

町長／防災マニュアルに沿って実施

質問

災害から身を守るには逃げるというのが基本だ。問題はその逃げ方で、韓国の客船が沈没した時に船長や乗務員が真っ先に逃げ出した。こういうことがあつてはならない。

本町でも、災害に備えて一定のシナリオのもとに訓練されているが、いざ本番となった時、本当に生かされるのかどうか質問する。

①「八頭町防災会議条例」「八頭町災害対策本部職員設置要綱」などに基づく実施状況は。
②大災害ともなると、被災地に携帯電話をしても混信して繋がりに難くなる。また、被災地で停電になると、一番頼りになるのがラジオだ。何か善後策は打っているか。
③防災マニュアルの周知方法と防災訓練の参加状況はどうか。
④集落支援職員の任命状況と役割はどのようなようになっているか。

答弁

吉田町長

①最近では、平成27年2月25日に防災会議を開き、災害対策本部員の構成、組織、事務分担の見直し、動員計画や避難所指定などの見直しを行っている。

②基本的には移動無線があつて心配はしていない。ラジオについては、以前に調査した経過があるが、各集落の公民館では電波は届いている。電波状況の悪い所はラジオ本体の精度を上げることになる。

③平成20年に防災マップ、地震ハザードマップの全戸配布をしている。

昨年の8月に実施した訓練では、130の集落の内、108の集落で5630人の参加だった。

④職員を集落ごとに配置し、防災訓練実施のサポートをしている。集落支援員の活動費として払っている報償費5000円は、未実施の集落があり、改めて内部で検討する。

質問

選挙の公約は5つあるが、町長はこの公約を任期4年で果たすことが使命となっている。町長の任期は平成30年5月まで。よって、4年以内に

選挙公約

進捗状況は

町長／実績を取りまとめ、次年度以降に反映させる

は仕上げてもらわないと、町民をたばかったことになる。進捗状況と併せ、政治家・吉田英人としての覚悟を尋ねる。



▲ 防災の基本は器具の点検にあり

答弁

吉田町長

子育てができる環境整備、集落・地域の活性化など強化を進めている。また、移住・定住の促進、交流人口の拡大を目指す。県と連携し、公共交通全てを点検する地域公共交通網形成計画を検討する。言われるように4年間のことしか考えていない。

議案等議決結果 (第10回臨時会・第11回定例会)

○全会一致で可決した議案

議案等番号	件名	議案等番号	件名
第10回臨時会			
115	郡家保健センター増改築工事請負変更契約の締結について	117	平成27年度八頭町一般会計補正予算(第5号)
116	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて		
第11回定例会			
121	八頭町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	129	平成27年度八頭町一般会計補正予算(第6号)
123	八頭町総合福祉施設多目的広場条例の一部改正について	130	平成27年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第2号)
124	八頭町福祉施設設置条例の一部改正について	131	平成27年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第2号)
125	姫路公園の指定管理者の指定について	132	平成27年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第3号)
126	八東ふるりの森の指定管理者の指定について	133	平成27年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第2号)
127	船岡保健センターの指定管理者の指定について	発議12	八頭町議会基本条例の制定について
128	八東地域福祉センターの指定管理者の指定について		

○賛否の分かれた議案

議案等 番号	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結 果
	件名	山本 弘敏	小林 久幸	坂根 實豊	下田 敏夫	奥田のぶよ	欠員	西尾 節子	小倉 一博	河村 久雄	川西 聡	桑村 和夫	尾島 勲	高橋信一郎	池本 強	栄田 秀之	
第11回定例会																	
118	若桜鉄道株式会社が所有する鉄道資産の無償譲受について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
119	八頭町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
120	八頭町鉄道施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	可決
122	八頭町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
陳情10	「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情書	×	×	○	×	×		○	×	×	○	○	×	×	○	×	不採択
陳情11	所得税法第56条の廃止を求める陳情書	×	×	×	×	×		×	×	×	○	×	×	×	○	×	不採択

賛成「○」、反対「×」、議場退席「-」、欠席「欠」で記載。議案の採決は、谷本正敏議長を除く14人で行う。

私も言いたい ~議員OBからの声~

議会の活力は町民の力で。出でよ新議員!

八頭町用呂 前八頭町議会議員 矢部 博祥



「元議員の声」の原稿の依頼を受けたので、現役時代、そして退いてからも更に思いを深くしている四点に絞って申しあげます。

○「議員の動きは、わからない」という町民の認識を心に刻んで、透明性を更に深めてほしい。

かつて、一般質問や議員個人の議案賛否の議会広報紙掲載を否定したり、CATVでの議会放映を渋る議員など常識では考えられない姿を見てきた。最近、少しずつ改善されてきているのは、望ましいことです。

○「議員の常識は、町民の非常識」を打破する取組みを進めてほしい。

葬儀参列のために議会を平気でサボる。行政視察に行っても、議員の報告義務もなければ、先進事例を生かす議員間での真剣な取組みが無い。それまで反対していた事案も政権が変わると大義もなく賛成する。これなどは、ほんの一例。

○常に研さんを積み、町民の声はもちろん、議員の知恵が

生かされる提案(条例等)ができる実力をつけるとともにそのための仕組みづくりを望みたい。

議会の提案力は、極めて弱く、議会独自の政策提案は皆無と云ってよいと思います。議員の資質もさることながら、折角の行政視察や一般質問が個人の発言・見解の域に留まっ

てほとんど生かされていません。議員個人々々が切磋琢磨して実力をつけることはもちろんです。更に折角のこれらのチャンス

を議員の総力で共通認識に高めるべく熟議し、「束」となって行政に提案していく仕組みづくりが必要と考えます。○議会や議員個々の監視は、町民の義務です。議会に活力を生むには、ま

月 日 曜	開議時刻	日 程	月 日 曜	開議時刻	日 程
3月7日 月	8:40 9:30	○ 全員協議会 ○ 本 会 議 1 開 会 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 4 諸般の報告、請願・陳情の委員会付託 5 町長施政方針 6 議案上程 7 同上に対する町長の提案理由の説明 散会後 ○ 全員協議会(議案説明) ※CATV中継	3月12日 土	休 日	
			3月13日 日	休 日	
			3月14日 月	9:00	○ 連合審査会
			3月15日 火	9:00	○ 常任委員会
			3月16日 水	9:00	○ 常任委員会
			3月17日 木	9:00	○ 常任委員会
			3月18日 金	13:30	《午前：町内小学校卒業証書授与式》 ○ 連合審査会
			3月19日 土	休 日	
3月8日 火	9:30	○ 本 会 議 1 議案に対する質疑等 2 議案の委員会付託 ※CATV中継	3月20日 日	休 日	(春分の日)
			3月21日 月	休 日	(振替休日)
3月9日 水	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問 ※CATV中継	3月22日 火	休 会	全員協議会
			3月23日 水	休 会	事務整理日
3月10日 木	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問 ※CATV中継			○ 本 会 議 1 常任委員長付託議案審査報告 2 議案の可否決定 3 常任委員長付託請願・陳情審査報告 4 請願・陳情の採否決定 5 閉 会 ※CATV中継
3月11日 金	13:30	《午前：八頭中学校卒業証書授与式》 ○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問 ※CATV中継	3月24日 木	9:30	

※なお、7、8、9、10、11、24日はケーブルテレビで中継します。

定例会本会議を
ケーブルテレビで
中継しています

議会の傍聴を
してみませんか

一般質問は
再放送しています

TEL 0858-72-3975
FAX 0858-72-2641
(議会事務局)

八頭町議会

検索

編集後記

「この世で、変えられないものがある。それは、他人と過去である。この世で、変えられるものがある。それは、自らと未来である」と言われます。また「これで良いと思った瞬間から、退化が始まる」「生き残るためには、変わらなければならぬ」という有名な言葉があります。

本町は、合併して10年・・・どう変わったのでしょうか？
地方創生という荒波を乗り越え、どう生き残るのか問われる年です。力を合わせ、未来に向かって変わる時・・・では。

(記・下田敏夫)

- 編集委員
- 委員長 川西 聡
 - 副委員長 奥田のぶよ
 - 委員 小林 久幸
 - 委員 坂根 實豊
 - 委員 下田 敏夫
 - 委員 河村 久雄
 - 委員 柴田 秀之



再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています

